

ゼンシヨー・はま寿司

春闘不成立の危機

私たちは、回転寿司産業ではたらくパート・アルバイト・正社員でつくる労働組合『回転寿司ユニオン』です。

「スシロー」「くら寿司」「はなまる（根室花まる）」など各社と労使関係を有し、春闘を含むさまざまな交渉をしています。そのうちの一つ、ゼンシヨー子会社の「はま寿司」では、連続する会社のきわめて不誠実な対応により、春闘交渉そのものが不成立となる危機をかかえています。

交渉をしたがゼロ回答、低額回答、というならともかく、交渉そのものが不成立という由々しき事態は、何としても回避しなければなりません。

① 回答期限の遅延は日常茶飯事。連絡もなし

会社が組合要求の回答期限を遅らせることは日常茶飯事。遅れる旨の連絡の一本もなく、平気で2ヶ月後に返してくることも。

春闘で2ヶ月待っていたら、もう4月を迎えてしまいます。

② 催促すると「申入書、いただいていたっけ」

今春闘も、1月10日付で1月中の第1回交渉開催を申入れたのに一向に連絡が来ず。26日に組合から確認の連絡を入れると、「いただいていたっけ」とすっとぼけ。その間にスシローでは交渉が始まっています。

③ ほかにも不当労働行為を連発 脱退勧奨も

このような団交遅延は、労組法で禁止されている「不当労働行為」に該当する可能性があります。このほかにも、組合員に脱退を勧奨したり、退職を半ば強いたり、まさにやりたい放題。

